

ぽると多治見だより 秋

多治見市市民活動交流支援センター（ぽると多治見）

〒507-0034 多治見市豊岡町 1-55 ヤマカまなびパーク 6 階

開館時間：午前 9 時～午後 5 時

休館日：月曜日（祝日は開館）年末年始（12/29～1/3）

令和 6 年（2024 年）Autumn

申込/お問合せ ☎ 22-0320 受付 AM9 時～PM5 時

右記の 2 次元コードからの申込も出来ます ▶



NPO カフェ

多治見市まちづくり活動補助金
エントリーサポート講座

参加
無料

申請書の書き方や予算の立て方、申請に当たっての
注意点などを解説します。

10 月 20 日(日) 13:30～15:30

【会 場】ヤマカまなびパーク 6 階 視聴覚室
【対 象】団体・個人でエントリーを考えている方
【定 員】15 名



皆さんの活動のお役に立ちたい ぽるとです

防災意識向上連携講座

能登半島地震派遣活動から
防災について考える

参加
無料

能登半島地震派遣活動から災害の備えについて
一緒に考えましょう 【共催】多治見市学習館

11 月 29 日(金) 13:30～15:00

【会 場】ヤマカまなびパーク 6 階 視聴覚室
【講 師】田立 桂吾
（社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会）
【定 員】20 名



防災につながる貴重なお話が聞けます。

防災意識向上連携展示

自衛隊の
被災地支援活動展

観覧
無料

災害発生時における自衛隊の
支援活動の展示を行います。



11 月 20 日(水)～11 月 29 日(金)
9:00～21:00

【会 場】ヤマカまなびパーク 1 階
エントランスロビー



様々な支援活動をパネルで紹介します。

毎月第3木曜日に開催！

NPO 専門相談

相談
無料

運営協力（特非）ぎふ NPO センター

NPO 法人立ち上げ、事業・会計
の報告方法、会員募集のお悩み
など、お気軽にご相談ください。



10/17 11/21 12/19

① 14:00～14:50 ② 15:00～15:50

※ 各日各時間 1 団体のみ 事前予約制



支援事業・活動レポート

おかげちゃん

市民活動団体の皆さんのスキルアップ支援を目的とした「プロから学ぶ伝わる文章とは」や 登録団体を支援する「まるで防災」「多治見空襲と戦争にまつわる話」について報告します。



レポート①

6/29(土)

プロから学ぶ伝わる文章とは



スキル
アップ
支援

ライター、フリーアナウンサーのほか、整理のプロとして活動中の野口晃一郎氏の講義は聞きとりやすく、分かりやすく、文章の基本、構成、情報の整理方法などを説明されました。ポイントは「思考の整理をして伝えたいことをはっきりさせる」「キーワードは見出し」にあり、読み手本位の文章であること、文章を作る練習としては目に映したものを声にして文章化にすることが役立つ、との話がありました。参加者のアンケート結果は、大変好評で、さらに深掘りした内容などで、第2弾の講座を期待する声が聞かれました。



文章の基本は
限られた文章量で
自分の伝えたい内容を
相手に理解してもらうこと
読み手本位であることが大切！

レポート②

7/27(土)

防災カードゲーム「まるで防災」体験会



普及啓発
活動支援

楽しく遊びながら防災知識が身につく、ぼると多治見と市民活動団体が協力開発したボードゲーム「まるで防災」の体験会を実施しました。市内外から家族連れや関心のある方が集まり、カードに描かれた防災グッズについて説明を受けながらゲームを楽しみました。アンケートには「良かった」との声が多く寄せられ、「小さい子どもでも遊びやすく、防災知識が身につく」と高評価の声をいただきました。新聞に掲載された際には公共機関を中心に購入希望者が殺到したこともあり、今後も多くの方に体験して頂ける普及活動に努めたいと考えています。



レポート③

8/17(土)

語り部に聞く戦争の話 多治見空襲と戦争にまつわる話



市民活動
支援

今年も若い二人の語り部が「戦争にまつわる話」を独自の視点・調査で発表。加藤貴瑚さん(中3)は第2次世界大戦の日本の主力戦闘機「零戦」について、加藤眞裕さん(小6)は戦時下の動物たちの悲劇についてスライドを交えて説明がありました。自分で行動し確かめる姿勢と豊かな感性に裏付けされた若き語り部の成長に感動したという感想が参加者より多数聞かれました。

代表の鬼頭佳嗣さんは、多治見空襲の史実を分かりやすく解説しつつ、質問を投げかけながら、自分たちの町の戦争の歴史を知ることの大切さについて語りました。

